

「社会保障の解体は許さない！憲法まもりいかす社会をつくろう！！」 STOP！介護改悪 介護ウェーブ2016推進ニュース -介護の“Big Wave”を広げよう！-



山梨からアクション！

秋の介護をよくするアクションウィーク (11月7日~14日)

宮城 11月15日に福祉ウェーブを行いました。

福祉ウェーブとは福祉にかかわる様々な団体が集まり、社会福祉制度の拡充、福祉労働者の処遇改善を求めて行っている街頭宣伝、署名行動です。2009年から始まったこの取り組みは今回で9回目となりました。

介護分野では4月から介護保険制度が改悪されたため、要支援者の切り捨てや特養入居が要介護3以上に限定され、8月からは一定所得以上の方が2割負担になるなど、利用者への負担が強いられています。**2割負担になった方はサービスの回数を減らす**

などの利用控えが起こっています。また介護報酬が大幅に減額されたことで法人の収入にも影響し、私たち働く労働者への処遇改善どころか、労働環境は悪くなるばかりです。

保育分野では2015年4月から新たな保育制度「子ども子育て支援新制度」が始まりました。国は施行前、「全ての子どもが平等に保育を受けられる仕組みで待機児童減」「財源は消費増税分で」と説明していました。しかし、半年が過ぎ、『待機児童は5年ぶりに増加』『保育料が2~4倍に』などの事例が報告されています。さらに国は、保育士資格の基準引き下げや、無資格者の保育を促すなどの施策を進めようとしています。新制度に対する不満の声と共に、保育の質を求める保護者の声が多く上がっています。また低賃金・過重労働による保育士不足（全職種平均と10万円近い差）も大きな問題になっています。子どもの最善の利益、保護者や現場の要求を汲み、その要求に応える保育制度が望まれます。



介護・障がい分野からの参加者は50名で署名数は216筆、保育分野からの参加者は70名で署名数570筆と多くの署名を集めることが出来ました。参加された皆さん、改めてありがとうございました。

社会保障費が年々減額され、私たち福祉労働者を取り巻く環境は悪くなっていくばかりですが、よりよい社会を作っていくために声を上げ続け、様々な分野で運動を広げていければと思います。（宮城厚生福祉会 小野泰明）



山梨 安心して下さい。山梨も取り組んでいますよ♪

介護ウェーブニュースに触発され、山梨からも全国の仲間へエールを送りたく、当法人でも介護アクションに取り組みました。事業所ごとに写真を撮影しています。今後、動画化してユーチューブに載せることも計画中です。

(山梨勤労者福祉会 柳場和彦)

写真は次ページに載っていますよ→



熊本

くまもと福祉会フェイスブックより



1.27 介護ウェーブ国会行動やいます!

1月4日から国会が始まり、通達第ア-783号(12月25日付)でお知らせしましたとおり、介護ウェーブ国会行動を行います。署名提出も行います。お手元にあります署名は、1月20日(水)までに全日本民医連事務局まで、お送り下さい。

- ◇日時&場所：2016年1月27日(水)10時受付開始 参議院議員会館101号室
- ◇スケジュール：10時30分～ 情勢学習と意思統一、請願署名提出、議員要請行動 (食食をはさんで) 議員要請行動のまとめの集会

16時頃終了予定

*参加申込みは、1月20日(水)までに、メールかFAXで全日本民医連事務局までお願いします。



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：吉澤・諏佐(すさ)
 ☎03-5842-6451/fax03-5842-6460 E-mail: min-kaigo@min-iren.gr.jp